

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修
グループ討議成果物

情報リテラシー教育の見える化

テーマ： マネジメント / 1班

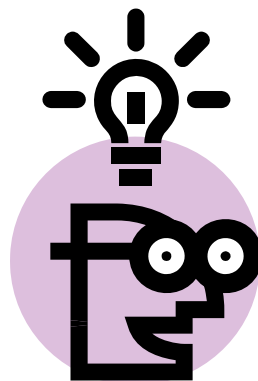
発表日：2013/10/18
会場：大阪大学

課題

- 図書館（情報リテラシー担当者）
 - レベル・内容が担当者に丸投げ
 - 前年度を踏襲した内容になってしまう
- 教職員
 - リテラシー教育の理解に差がある
- 利用者
 - 内容を覚えていない。身につけていない？



体系化！



まず、前提は・・・

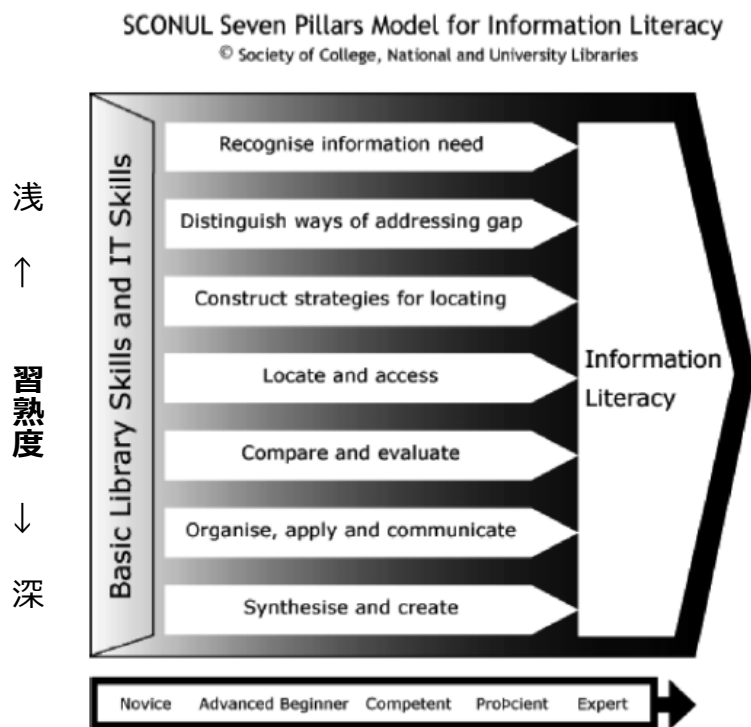
大学が目指す学生像



こんなリテラシー教育をするぞ！

リテラシー教育の体系化

モデル → 実施すべきリテラシー教育の体系表



| | 1 | 2 | 3 | 4 | M | D | .. |
|----------|---|---|---|---|---|---|----|
| 利用案内 | ◎ | | | | | | |
| OPAC | ○ | | | | | | |
| 論文検索 | △ | | ◎ | | ○ | | |
| データベース | | | | | ○ | | |
| レポートの書き方 | | | ◎ | | ◎ | | |
| プレゼン方法 | | | | | ◎ | | |

初心者 ← レベル → 達人

SCONUL. The Seven Pillars of Information Literacy model. 2007.11. (日向良和. 情報リテラシーを意識した図書館ガイダンス-- 都留文科大学の実践例. 都留文科大学研究紀要. 73, 95-111, 2011の p99から転載)

メリット

- 図書館（情報リテラシー担当者）
 - レベル・内容が担当者に丸投げ
 - 前年度を踏襲した内容になってしまう

→ **各セミナーのレベル・目標を
担当者間で共有できる**
- 教職員
 - リテラシー教育の理解に差がある

→ **学内へ説明しやすい**
- 利用者
 - 内容を覚えていない。身につけていない？

→ **学生にも見えるか？**



PDCAサイクルで！

